

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第 58 号

令和7年(2025年)
7月1日 発行



世界を一つに 万博大屋根リング（大阪市此花区、大阪・関西万博会場）

NHK-BS「につぼん縦断こころ旅」は、俳優の火野正平さんが視聴者からのお手紙を元に、自転車で視聴者の「ここに残る風景」を訪れる番組です。

私は正平さんのこころに感じたそのままの言葉や振る舞いを楽しみにこの番組を見ていました。

ゼーゼーと息を切らせて坂道を上り、そして視界が開けてやっと下り坂。ペダルから足を外し、膝を伸ばして「人生下り坂最高！」と叫びながら坂を下ります。この言葉が番組のキャッチフレーズになりました。

「若い人がうらやましい……年取ったらあきません」とよく耳にします。しかし「人生下り坂最高！」は重力におまかせして力を抜いて老いを引き受けていくのもいいものだと聞こえます。

残念ながら、正平さんは昨春秋に亡くなりましたが、我が身を飾ろうとせず、ありのままの姿で老いることの尊さを教えられた気がします。

（葦名彰）

と う ひ が ん 到 彼 岸



人間は長所でつまずく

正念寺 おさだ 長田 ゆずる 譲

今年三月、叔父の三回忌法要が勤まり、親族・門徒さんを前に法話をさせていただきました。お世話になったことを振り返りながら故人を偲びました。

叔父の一言

叔父の寺は伊吹山に近く、盆正月の帰省だけでなく、登山やスキーの際もよく泊めてもらいました。叔父の教員時代の教え子の方が、奥伊吹で民宿を

されていて、私が高校生の時、同級生男女十五人程を誘ってスキーを楽しんだこともありました。

私は小学生から高校生までの通知簿には「行動力があり、友だちが多い」、また一方「落ちつきがない」という評価を一貫してもらっていました。

大阪の寺に入寺した頃、叔父から「人間は長所でつまずくことがある」と言われました。子どもの頃からの言動や、自己顕示欲の強い私の性格を見抜いての一言だったと思います。

人間は自分の苦手な分野や自信のないことに向き合う時は慎重になるものでしょう。逆に得意な分野には自信があり、良い成果につながれば、周りから評価されることで喜び、うぬぼれ、有頂天になることがあります。

そんな時には、人間関係を悪化させ、足もとをすくわれるぞと警告してくれたように、その一言を住職歴三十年を

過ぎた今も大切にしています。

邪見驕慢

親鸞聖人は正信偈で私たち凡夫の姿を邪見驕慢と教えてくださいます。「邪見」とは、私がこの目で見た、この頭で考えたから間違いないと、自己を正当化するよこしまな見方です。「驕慢」は自分の実績や知識や能力を誇り、うぬぼれ、周りを見下し、自己を見失う姿です。

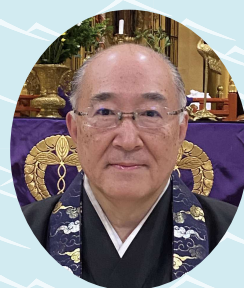
世間の評判が良いときには、私は図に乗り過ぎて、他人の意見や家族からの忠告さえ聞く耳を持たず、「自分勝手」だと思われています。邪見驕慢な私は、叔父の「長所でつまずく」という一言を思い出しては反省。今この言葉は仏さまの智慧の光明として届いているといただいています。



如^{にょ}是^ぜ我^が聞^{もん}

小さな命が教えてくれたこと

大阪教区 常光寺 佐々木太一^{ささき たいち}師



に抱かれる姿が映像に流れ、佐々木氏は思わず涙を流したと語っておられました。

この番組を通して佐々木氏は、「現実を受け入れ、まだ起きていないことに思い悩まず、今を前向きに生きることの大切さ」を痛感したと話してくださいました。

すべてを自然のはたらきに

まかせ、厳しい状況を受け入れる覚悟をされたご両親。その結果、たとえ最悪の事態であつてもすべてを受け入れようとされるご両親のお姿は、私たちがすべてを阿弥陀さまのはたらきにおまかせするとう、親鸞聖人が私たちに示してくださった教えに通じるところがあると聴かせていただきました。

(寿栄松正顕 記)

名前に込めた願い

『大悲』編集者の常光寺住職、佐々木太一氏がユーチューブチャンネルを開設され、その中のご法話を聴聞させていだきました。NHKの番組「病院ラジオ」について語られました。

愛知県の藤田医科大学病院が舞台でした。そこに入院されていたのは、妊娠三十五週のみズキさん。検査の結果、お腹の赤ちゃんに異常が見つかり、生まれても肺呼吸ができませんかもしれないという状況だったそうです。

それを受け、ご両親は出産前に「自然にありのまま大きく育ってほしい」という思いで「然^{ぜん}」という名前を付けられました。また、「生まれてか

らではなく、お腹に来てくれた日を一日目と数えています」と語る姿に、佐々木氏も深い感銘を受けられたとのことでした。

ご主人も「まだ起きていないことを悲観せず、これまで順調にきたことを大切にしよう」と前向きな言葉をかけ、夫婦で支え合う姿は見る者の胸を打つものだったそうです。

命の輝き

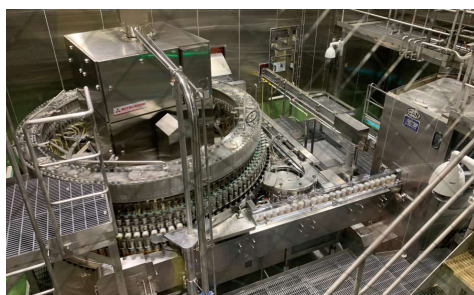
番組の最後には、無事に生まれ自ら呼吸する然君が母親

この番組は、漫才コンビ・サンドウィッチマンが全国の病院を訪れ、院内限定のラジオ局を一日だけ開設し、患者さんやご家族と語り合うという内容です。笑いと涙に満ちた、心温まる番組として人気です。

アサヒビールミュージアム



アサヒビールミュージアム正面入口



工場にて充填される缶ビール



出来たての生ビール



(中井翔隆)

アクセス、料金等は
QRコードよりご確
認ください。

工場見学ツアー

吹田市西の庄町にある「アサヒビール吹田工場」は1891年にアサヒビールのルーツである大阪麦酒の最初の工場（吹田村醸造所）が竣工した場所です。

当時の麦酒は、苦みの強い舶来物が主流だった中、日本人の口に合うように開発された物が、現在も販売され続けているアサヒビールです。吹田工場に併設されている「アサヒビールミュージアム」では、大阪麦酒からの歴史を感じる展示物や、現在の製造技術を見学できます。

至福の一杯、いや二杯

タンクの中でビールが作られていく様子を、VR技術によりビール酵母目線で体験できます。

工場見学では、ビールが缶や瓶に充填される様子や、箱詰めされ、順番に出荷されていく作業を見学でき、「スーパードライゴライド」では、映像に映る缶の上に乗った目線で、一連の工程をスピードとスケールの大きさを感じながら体験できます。

ツアーの終わりに数種類用意されている出来たての生ビールの中から一人二杯まで試飲できます。車でお越しの方や未成年の方は、ノンアルコールビールかソフトドリンクをいただけます。ツアーの参加は、事前予約が必要となります。

ごえんさんを訪ねて

こうようじ

光曜寺（大阪市城東区）

まつやま

たかしげ

松山 隆茂 住職



光曜寺がある鴨野の地は、大阪城にほど近く、歴史的に戦略上の拠点でした。そのため慶長19（1614）年の大坂冬の陣、そして夏の陣によつてお寺は焼失しました。また水上交通の要路でもありましたが、明治18（1885）年の明治大洪水によつて流失しました。そして昭和20（1945）年の大阪大空襲で、近くに攻撃目標となった大阪砲兵工廠があつたため、再び焼失し、現在の本堂は昭和30（1955）年に再建されました。

本尊の阿弥陀如来の御木像は大阪市教育局委員会の調査で室町時代の作品とされ、近隣の寺院の中でも最も大型であると判断されています。第25代住職の松山信城氏は空襲で命を落としますが、このご本尊は津市の真光寺に疎開させていたため戦火を逃れました。

このように度重なる災難もあり、



光曜寺本堂内陣

創設、沿革は明らかではありませんが、分かっている範囲でも現在のご住職は第28代となります。

いのちを通わす大切さ

ご住職は、学生の頃から法務にたずさわられていました。また60歳まで大阪府庁に36年間勤め、その間も勤務後の夜に法務をこなしました。先代である父の憲文氏が亡くなられた45歳の時に継職し、今年4月の春法要では住職30年の表彰をうけられました。

昔から人との付き合いを大事にされてきたご住職は、最近まで通っていた近くのジムでも様々な業界の人々と出会ってこられたそうです。

また子どもの頃からカラフト犬や狆など色々なペットを飼い、現在も保護猫と共に暮らす優しさの中に、いのちのつながりを大切にされているお人柄を感じました。

寺院の今後

最後に、長年一般社会で揉まれて来た経験から、現代のお寺を取り巻く環境の厳しさを見つめ、これからの時代にどう対応していくべきかを考える必要が、寺院、教団にはあると、語ってくださいました。

（門川 崇志）

■光曜寺（こうようじ）

〒536-0013

大阪市城東区鴨野東2-9-16

電話 06-6961-0797

Fax 06-6963-1727

大悲トピックス

■さつき総会

5月9日、さつき会総会が行われ、総会後の親睦会は和やかに終えました。昨年に続き、役員一同「皆さんにご出席いただける研修会を」と考えています。

(さつき会会長 中井 秀子)

■佛青懇和会総会

5月30日に総会を開催しました。今年度も佛青懇和会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(佛青懇和会会長 松野 正暁)

■懇志御礼

新潟市西蒲区 佛照寺様
東京都台東区 西徳寺様

■お悔やみ

謹んで哀悼の意を表します。

第四組・光源寺

中院 秀久様 (5月6日寂)

■勝友会布教大会

5月29日、勝友会布教大会が開催され、参加してきました。勝友会とは佛光寺派の布教使の会で、年に一度、全国各地で布教大会を開いています。今年は長崎市にある正覚寺様が会場でした。

午前中に2名、午後から2名の布教使が、「大悲に生きる人にあう 願いに生きる人となる」を共通テーマとして、それぞれ40分の法話をされました。

年齢や経歴の異なる4名が、それぞれの体験談を交えながらお話しされ、たいへん興味深く聴聞させていただきました。

(隅谷 俊紀)



㊦ 正覚寺様本堂

㊧ 布教大会の様子

真宗佛光寺派
如来寺

気がつけばいつも

お蔭さまのなか

芦屋市川西町8-6

住職 藤谷 信道

御本山  用達

株式
会社

川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367(代)

FAX (075) 371-5088

創業100余年・お墓の専門店

石留石材株式会社

土日祝もご相談いただけます (8時~17時)

 **0120-53-5578**

■本社：大阪府藤井寺市津堂2丁目9番29号

仏跡参拝なら専門旅行会社に
お任せ下さい!!

～歩もう仏陀の道のりを～



株式会社 **モントラベル**

〒550-0013

大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

お気軽にお問い合わせください

TEL. 06-6531-1344

お墓なんでも相談センター

とわ おも かたち かえ
永遠の想いを像に還るお手伝い



ヨシザワ

株式会社 吉澤石材工業所

フリー
ダイヤル **0120-49-1482**

浜屋は関西最大級の
お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
専門店です。

やすらぎの
世界を創る



浜屋

お問い合わせ
お申し込み

通話料無料/浜屋郵路本社フリーダイヤル

0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時30分

だいひ 絵日記

4月9日(水) 大悲の会編集会議(第58号読み合わせ)(オンライン会議)

4月30日(水) 大悲の会編集会議(第58号読み合わせ)(オンライン会議)

5月9日(金) さつき会総会①

5月21日(水) 大悲の会編集会議(第58号読み合わせ)(オンライン会議)

5月30日(金) 佛青懇和会総会②

6月13日(金) さつき会研修会(「仏教とお寺の話」、講師：菅原 良暢 師)

6月20日(金) 法友会総会、大阪教区総会

6月24日(火) 大悲の会編集会議(第58号発送作業・第59号内容検討)

(法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



協賛

佛青懇和会

大阪教区の青年会
(会長：松野正暁)

協賛

さつき会

大阪教区の坊守会
(会長：中井秀子)

協賛

法友会

大阪教区の住職会
(会長：善本和彦)

■誌面広告の募集 (『大悲』発行は広告によって支えられています)

企業・団体・寺院の広告を誌面に掲載させていただきます。

1区画(55mm×40mm)、掲載1回につき5,000円です。

■定期購読の受付 (ご門徒の皆様方にもお渡しください)

『大悲』の定期購読は、1部につき30円です(送料込)。10部単位でお願いいたします。

法要のご案内

大阪別院盂蘭盆会

8月13～15日午後2時

大阪別院彼岸会

9月20日(土)午後2時

法話:長田 譲 師(正念寺)

9月23日(火・祝)午後2時

法話:門川 崇志 師(浄方寺)

9月26日(金)午後2時

法話:中井 翔隆 師(最勝寺)

お寺の掲示板

相手の怒った顔はまさに鬼

私の怒った顔は見えないが

鏡に映せばまさに鬼

編集秘話

昨年末、高槻市に新関西将棋会館がオープンしました。数年前から市の広報でも「将棋のまち高槻」と盛り上げようとしています。そこで次回の大阪探検は、私が新しく出来た将棋会館取材することになりました。しかし私は将棋に興味がないので指し方を知りません。さてどうなりますことやら。(葦名)

編集後記

巻頭の写真は、大阪・関西万博の目玉である大屋根リング。1周約2km、高さ12～20m、幅30mの世界最大の木造建築物です。次号の「大阪探検」にと思いましたが、閉幕直前となるのであきらめました……。実際、リングを10周歩いた動画をUPしています。YouTube「おじゅっさん 大屋根リング」で検索。(編集長・隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』第58号(夏号)

令和7年(2025年)7月1日発行(発行部数2200部)

発行:大悲の会

事務所:佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座:口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

ホームページ(HP) <http://daihi.org/> (ご意見・ご感想はHP内の「お問い合わせフォーム」より)

大悲の会

長田 譲(会長)

隅谷 俊紀(副会長)

寿栄松 正頭(会計)

玉出 宗順(会計)

門川 崇志(監事)

佐々木 太一

葦名 彰

中井 翔隆